

## 2018Japan National Team Report ”監督”



報告者氏名	濱田 健寿
大会名	ヨーロッパ選手権大会
開催地	オランダ デン・ハーグ
大会期間	6/23～6/30

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当岡田までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要です（文中に貼り付けて下さい）
  2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい
- 帆走指示書のコピーを添えてください。

現地までの旅程	成田空港へ集合し KLM (オランダ航空) にて直行便で、アムステルダム スキポール空港へ。約12時間のフライト。 北九州在中の私達は、福岡空港より成田空港へ前日入りしました。午前発の KLM 便のチェックインに間に合わない為。
旅行代理店	H.I.S (KLM 便のみ利用) その他の航空券は直接手配
渡航費用	KLM 成田→アムステルダム ¥269,620 (2名分) JetStar 福岡→成田 ¥20,230 (2名分) 前日入り 宿泊費 ¥8,183 (2名分) JetStar 成田→福岡 ¥21,340 (2名分)
エントリー料	・銀行送金で3,000€ (選手@450€×4人、監督、コーチ@600€×2人) ・現地受付で選手及びコーチの保険として50€ 現金支払 (10€×5人)
一人当たりの宿泊費用	・公式宿舎 (選手、監督、コーチ) は上記エントリー費用に宿泊費用も含む。 早期到着分として別途330€、銀行送金で支払 (1泊分 @55€×6名)。 公式宿舎のデポジット別途200€、現地受付時に現金で支払い。(返金は銀行送金) ・サポーター5名分は公式宿舎と同じ敷地内のコテージを日本で手配 172,646円
その他食料費	・現地での飲食費及び食材購入費用等として約400€。 これ以外に日本からインスタントおにぎりや乾麺やお米等の食材を持ち込んだ。 選手・監督・コーチの食事 (3食) はエントリー費用に含まれていて大会側から提供された。
チャーター料金	・OPチャーターとして1,500€ (@375€/1艇) を銀行送金で支払い。 別途デポジット1,000€ (@250€/1艇) は現地で現金支払。(返金も現地で現金) ・コーチボートは大会運営によるコーディネートだと2国シェアで675€だったが、ベルギーチームと事前に個別相談を行い550€でシェアすることができた。
大会本部の対応	

チームリーダーミーティングの様子、内容	食堂テント前の広場で、運営の方を囲うように円陣になって実施。 各チームや運営の方の質疑応答。食事の時間やシャトルバスの時間、審問になった場合、シャトルバスの運行時間から外れてしまうので、その対応は可能か?等。セイルのデジタルナンバーに対するの質疑もあり、張替えコストがかかるので今回は認めるとの見解でした。
選手達の様子で気をつけたこと	時差や、気温の変化に対するの体調管理。大会レース初日から夜までレースがあったので、体力疲労や精神疲労のケア。 潮の流れが強烈だったので、汐見図の作製、フォロー。
食事はどうでしたか	予想通りの洋食尽くしでしたが、大会期間中全て 朝食と昼食が同じ。パンとハム、卵料理。朝の料理を自分で加工準備してレース会場へ持参し昼食にして下さいとの事でした。 夕食も同様に、2～3日のサイクルでのローテーションメニュー。パン、サラダ、ミートボール、チキン、パスタ。
セキュリティなどで気をつけたことはありましたか。	初日のチームリーダーミーティングで、泥棒が入ったとのアナウンスがあったので、日中レース会場へ移動している際は、小窓等もしっかりと施錠。 オフィシャルホテルも1棟毎のコテージで、広大な敷地に 860 棟以上がありレース関係者以外の一般利用の方もいました。食事の際の移動等は常に団体行動を取り、単独行動は控えるようにしました。マリファナが合法国なので、オフィシャルホテル敷地内で関係者外の方が使用しており、試してみるかい?と声を掛けられたとの報告あり。
荷物に関して工夫したこと	セイルは1枚はボイド管へ纏めて収納。予備セイルはそれぞれ折りたたんでスーツケースへ収納して持参。荷物紛失トラブル対策。
日本との通信状況、手段	チームでポケット wifi を3台レンタルしてシェア。1つは海上へ出るコーチ。もう2台は陸上待機の監督及びサポーターで使用。 宿泊先のホテル(コテージ)には wifi が設置されていたので、それを利用。電話で通話する事は無く、通話する際にはLineのアプリを使って通話。
他国チームとの国際交流の実施	ベルギーチームとコーチボートのシェアを実施。プレゼントを頂いたりお返しをしたり交流実施。他チームとも写真撮影をしたり、レース後の T シャツ等の交換会も体験。閉会式後の夜は、ちょっとしたパーティーがあり、そこでも交換会を楽しんでました。
持参してよかった食品、医療品等	レンジや湯煎して調理する おにぎり、梅干し、味噌汁、インスタント麺など日本食。 現地の米が口に合わなく、持参した日本米を炊きましたが、芯が残る感じで美味しくありませんでした。調べるとオランダは硬水の為、お米に浸透し辛く固く仕上がってしまうようで、結局 軟水の水を買って炊きました。
次回参加者へアドバイス	現地の水事情の事前調査と簡単に調理出来る 食べ慣れた日本食が必須。 地元しか知りえない潮の流れ等のローカルな情報も早い段階で入手した方が良いです。
JODAへの要望	公式ユニフォームは、もっと早い段階で配布頂いたら慌てずに済みますので、前広に宜しく願います。
その他	

ご協力ありがとうございました  
JODA海外派遣委員会